

平成29年第2回（6月）瀬戸内市議会定例会

行政報告

本日は、平成29年第2回（6月）瀬戸内市議会定例会を招集しましたところ、ご多用の中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

先の市長選挙におきまして、再選の栄を賜りました。その重責に身の引き締まる思いであります。また、議会の皆さまにおかれましても、この度の選挙でのご当選、誠におめでとうございました。瀬戸内市の発展にご尽力下さいますようお願い申し上げます。

3期目の就任を前にして、今後の市政運営につきまして所信を述べたいと思います。

これまで、議会や市民の皆さまのご理解をいただき、長年の懸案事項であった事業に取り組むことができましたが、今後さらなる課題の解決に向けて全力で取り組んでいく所存です。これらの実現のためには、市民の皆さまと対話を重ね、協働で瀬戸内市のまちづくりを進める永続的な発展の仕組み作りが必要であると考えます。

そのためには、次の四つの視点を重視しながら具体的な取り組みを検討していきたいと考えています。

第一に、人材の育成です。お互いさまの気持ちを大切にする温かい地域づくりのためコミュニティリーダーシップを発揮できる人材を地域とともに育てるということです。この人材には、市民の皆さま、企業の皆さま、そして市役所の職員も含まれます。今後、継続的な人材育成のための具体的な仕組みを検討していきます。

第二に、地域経済とコミュニティの活性化です。地域経済の活性化のためには、新たな工業団地の造成や中小の企業への支援制度の拡充と併せて、地元産業における特産品の開発や販路開拓の支援策をさらに進める必要があります。また、コミュニティの活性化については、瀬戸内市に合った地域への一括交付金と地域自治組織のあり方を確立し、地域の主体的な取り組みが進められることによって、それぞれの地域固有の課題の解決と、市民参加のまちづくりが進められるようにしていきます。

第三に、シビックプライドの醸成です。瀬戸内市では、昨年度から瀬戸内市のブランドを確立するための調査を行い、ブランドブックを作成しました。このブランドブックに示されているように、瀬戸内市の自然や文化資源の豊かさを活かし、利便性をさらに高め、子育て環境や教育環境の整備を進めることによって、瀬戸内市に対する愛着と誇りを高めていく取り組みを続けていきます。

第四に、健全な財政の維持です。少子高齢化による扶助費の増加や、地方交付税の削減により、財政は年々厳しくなってきます。しかし、このような中においても、子育て、教育等市の魅力を高めるための施策は積極的に取り組んでいかなければなりません。公共施設再編等の行政改革や、太陽のまち基金の効果的な活用により、健全な財政の維持を図りながら、市民が幸せを感じるまちを実現するとともに、瀬戸内市の永続的な発展を目指していく所存です。

以上四点について、今後具体的な方策をまとめ、安定的かつ積極的なまちづくりを進めて参りますので、議会や市民の皆さまのご理解ご協力をお願い申し上げます。

以上申し上げ、早速ですが行政報告に移らせていただきます。

危機管理部関係

○ 空家等対策について

本年2月定例会において「瀬戸内市空家等の適正管理に関する条例」の議決をいただき、現在先進地視察等の研究を行い、当条例の全面施行に向けて、準備を進めているところです。

この条例では、空家等の適正管理及び利活用施策を計画的に実施するための「空家等対策計画」を策定するとともに、空家の調査を行い、「空家台帳」を整備することとしています。

また、空家対策を進める組織として、関係職員による庁内体制を整備し、建築関係等の外部専門家による「瀬戸内市空家等対策協議会」を設置することとしています。

現在、関係各課の職員による会議を開催し、計画策定等のスケジュールの検討をしていますが、先進地では、計画策定、台帳整備に1年以上の期間を要しています。このため、当初8月頃までに策定するとしていた計画等については、規制だけでなく、利活用も含めたより効果的な内容とすること、また市民への周知期間も考慮し、今年度末の策定を目指して、庁内体制の整備、また協議会での検討を進めていきたいと考えています。

総合政策部関係

○ 地方創生拠点整備事業の進ちょく状況について

「地方創生拠点整備交付金」による旧牛窓診療所を活用した「地方創生・瀬戸内R e . イノベーションハウス整備事業」については、今年度に予算を繰り越し事業を進めているところです。

事業の進ちよく状況としては、現在、耐震診断業務のうちの現地調査までを終えたことから、今後、建物の耐震性能の評価、補強の要否の判断を行うこととしています。

耐震診断業務終了後は、その結果に基づく耐震改修や給排水・電気設備等工事の実施設計業務、工事施工までの工程と並行し、施設の活用アイデア収集や市場性の把握などを行う「サウンディング調査」を実施する計画です。

この調査により、事業者が参加・提案しやすい条件を検討した上で、年内には施設活用事業者選定のための公募を開始し、平成30年3月までに各種工事等の完成と民間事業者の選定を終える予定としています。

なお、選定された民間事業者による内装工事等は、平成30年度中に行い、平成31年度からの供用開始を目指すこととしています。

市民部関係

○ ハンセン病療養所の世界遺産登録に向けて

4月10日開催の「第31回ハンセン病療養所の将来構想をすすめる会・岡山」の協議において、NPO法人ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会（仮称）設立準備委員会の設立について承認をいただきました。今後はNPO本体の設立に向けて協議を進めていく予定です。

市内全体で世界遺産登録への機運を高めることを主目的に、公益財団法人笹川記念保健協力財団主催による、「第5回人類遺産世界会議・ハンセン病の歴史を語り継ぐ」を、4月23日にゆめトピア長船で開催しました。

医療NGOペルシャワール会代表の中村哲医師の講演をメインに15か国のハンセン病回復者らが偏見や差別の歴史伝承や施設保存について意見

交換を行う公開セッションなども行い、市民ら約400人の皆さまに参加していただきました。

各国の現状を聞き、世界遺産登録の可能性を再認識するとともに、連携しながら推進することの必要性を強く感じています。

○ コンビニ納付について

市民の皆さまの利便性向上を図るため、平成30年度当初賦課分から、市税・国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療費保険料の全国コンビニでの納付が可能となるよう、8月をめどに収納代理業者の選定を行う予定です。

また、平成30年度の納付書等がコンビニ収納に対応できるよう様式の調整を行うとともに、新たな納付書に対応できるよう、今年度中に収納システムの改修を行うため、各会計の補正予算に必要経費を計上しています。

環境部関係

○ 環境フェスティンせとうちの開催について

7月29日にゆめトピア長船において、「環境フェスティンせとうち」を瀬戸内市消費生活問題研究協議会、岡山県備前県民局と共催で開催します。

「環境と食」をテーマに、地産地消のフードコーナーや販売コーナー、移動図書館、エコ体験として環境カルタ、クイズ、紙芝居など大人も子どもも楽しく環境を学べる場とし、併せて「COOL CHOICE」（賢い選択）の啓発も行っていきます。

多くの市民の皆さまにご参加いただけるよう、チラシ、広報紙、ホームページ等でご案内をしていきます。

○ 新火葬場について

新火葬場整備事業については、5月15日、16日、23日に玉津地区や地元自治会で説明会を開催し、61人のご参加をいただきました。

この説明会では、新しく策定した新火葬場整備基本計画の概要、施設の環境基準、概略スケジュールなどをご説明申し上げました。

出席者の方から、この事業に対するご要望やご意見をいただきました。今後は協議や連絡調整を行うため、地元の窓口となる組織を設置していただき、具体的な協議を進めていきたいと考えています。

次に岡山市との協議状況ですが、今年度に入り2回協議を行い、現状報告、意見交換などを行っています。

今後は、規約を定めた上で、両市で検討会議を設置し、具体的な連携方策について協議をしていきたいと考えています。

保健福祉部関係

○ 障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領及び留意事項について

平成28年4月に「障害者差別解消法」がスタートし、障害のある人もない人もお互いにその人らしさを認め合いながら、共に生きる社会をつくることを目指しており、「不当な差別的取扱いの禁止」と「合理的配慮の提供」を求められています。

市では、この法律に基づき、市役所の職員が適切に対応するために、不当な差別的取扱いや合理的配慮の具体例を盛り込んだ「障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領及び留意事項」を策定し、今年4月1

日から施行しています。

この職員対応要領等を職員に周知するとともに、差別の解消の推進を図るための研修会等を開催し、職員一人ひとりが法の趣旨、社会的障壁の除去の必要性、障害やその状態に応じた配慮等に関する理解を深められるよう、意識の啓発に努め、窓口対応などの市民サービスに生かしていきたいと考えています。

産業建設部関係

○ JR 駅前等整備事業の進捗状況について

市内 JR 3 駅の駅前整備事業の進捗状況ですが、2 月定例会でもご説明させていただきましたように、本年 3 月に JR 駅前等整備計画を取りまとめたところです。

計画では、平成 31 年度までに整備する公衆トイレ、駅前ロータリー、歩車道分離、駐輪場などの短期計画と、財源を含めて中長期的に課題解決を目指していく中長期計画に分けて整備する方針としていますが、このうち、短期計画については、先頃測量業務の発注を終えたところです。

短期計画については、合併特例債の活用を前提としていることから、限られた期間での実現に向け、それぞれの駅ごとに地元調整を重ね、用地交渉や JR 西日本との協議を進めていきます。

このため、今年度末までに詳細設計を完了させ、来年度早々に工事発注ができるよう、事業を進めていきますので、よろしく願います。

○ 北前船寄港地フォーラムについて

岡山市、倉敷市、玉野市、瀬戸内市の 4 市で共同開催する北前船寄港地

フォーラム in おかやま大会ですが、本年7月14日、15日の両日に開催する運びとなっています。

また、去る4月17日に第2回目となる実行委員会が開催され、本市ではシンポジウムなどを開催することとなりました。

おかやま大会では、北前船寄港地の自治体関係者や全国の旅行業界関係者などの参加者に加え、中国や韓国からもゲストを招き、国際的な広がりを持った大会とし、瀬戸内市の魅力を国内外に発信していく大会にしたいと考えています。

○ 有害鳥獣対策について

本年度から産業振興課内に有害鳥獣対策室を設置し、深刻化するシカ、イノシシなどによる農作物被害への対策に取り組んでいるところですが、去る6月2日に第1回目の瀬戸内市鳥獣被害防止対策協議会を開催したところです。

今後は、有害鳥獣対策の強化のため採用を予定している地域おこし協力隊、駆除班と連携を図りながらより専門的に有害鳥獣対策に取り組んでいきます。

病院事業部関係

○ 新病院開院後の患者数の状況について

新病院が開院した昨年10月から本年5月末までの患者数は、入院が2万2,910人で前年同期と比較して4,591人の増加、1日平均94.3人で病床稼働率は85.7%となりました。また、外来が3万1,071人で前年同期と比較して2,596人の増加、1日平均194.2人とな

りました。

今後とも、さらなる病院事業の経営健全化を図り、治す医療に加え支える医療も大切にし、市民に安らぎと幸せを届ける病院を目指していきます。

○ 無料ジャンボタクシーの運行終了について

附属牛窓診療所の休診及び閉院に伴い、平成27年7月から運行している無料ジャンボタクシーの平成28年度乗車実績は、片道1便平均0.7人の利用状況となっています。このような状況の中、本年11月から公共交通を充実する予定としており、無料ジャンボタクシーは本年10月末で運行を終了します。

ご理解の程、よろしく申し上げます。

消防本部関係

○ 災害時の緊急消防援助隊受援計画の策定について

近い将来の発生が懸念される南海トラフ巨大地震などの災害に備え、本市が被災し緊急消防援助隊の応援等を円滑に受け入れるための対応マニュアルである「受援計画」を平成28年度に策定し、平成29年4月から運用を開始しました。計画の内容としては、応援要請の連絡体制、指揮本部の設置体制、応援部隊の進出拠点、宿営場所、燃料補給体制等について明確化したものです。

今後は、「受援計画」を基に緊急消防援助隊との活動能力の向上に必要な訓練を行うとともに、訓練を通じて「受援計画」を検証し、随時見直しを図っていきます。

さて、今議会で提案申し上げます案件は、条例3件、補正予算5件、その他9件、計17件です。

よろしくご審議をいただき、適切なお決定をいただきますようお願い申し上げます。市長部局の報告を終わらせていただきます。

平成29年6月20日

瀬戸内市長 武久 顕也